

# おかちまち たいとう

## 「ご挨拶のすすめ」

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第13号

令和4年3月18日(金)

校長 福沢 俊之

Tel. 03(3831)3787



学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>

↑更新中

## 校長 福沢俊之

本日は、第20回卒業証書授与式です。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生の参列がかなわず、1、2年生に最後の「3年生の背中」を見せてあげることができませんが、16日の予行の様子をオンラインで見て、少しでも卒業式の雰囲気を感じてもらえたらうれしく思います。先日、会議のために来校された地域の方から「御台生の元気なあいさつが戻ったようで安心した。」というお話をいただきました。3年生の面接練習で御徒町台東中のよいところを尋ねると、決まって「あいさつが盛んなところ」と答えてくれます。卒業生もその伝統を最後まで引きついでくれました。本日は、きっと素晴らしい卒業式になると信じています。

3月7日(月)の朝礼で、俳優で随筆家でもあった沢村貞子さんの「ご挨拶のすすめ」というエッセーの話をしました。87歳で亡くなってもう二十数年になりますが、沢村さんは台東区浅草に生まれ、浅草尋常小学校(現 浅草小学校)、東京府立第一高等女学校(現 都立白鷗高校)を卒業し、一度は学校の先生を目指します。しかし、歌舞伎役者や映画俳優の家庭に生まれたこともあって、自身も役者の道に入りました。たくさんの舞台に出演するだけでなく、数多くの映画にも出演し、自ら志願して生涯、脇役に徹した役者でした。私の祖母と同じ世代ですから、生徒のみなさんにとっては曾祖母、それよりももっと上の方かと思しますので、おそらく映画はもちろん、名前も知らないかもしれません。

浅草で育った沢村さんは、台東区民憲章にあるような「気さくで人情あふれる暮らし」の中で、粋に振る舞う生き方を貫いてきた人であることが、その作品からもわかります。「わたしの茶の間」というエッセー集の中に、「ご挨拶のすすめ」という短編がありました。「挨拶は潤滑油」である、「おはよう」「こんにちは」とひと声かけ合うことが、お互いの気持ちのきしみを溶かしてくれると書いています。あるとき沢村さんは、働き者で正直で親切だけど、ものを言わない無愛想な知り合いから、5歳になった愛娘をどう育てたらいいかと相談を受けたとき、「とにかく他人様(ひとさま)にご挨拶ができるように今からしつけること、挨拶も出来ない娘は人に好かれないから」と諭したとありました。一方で、「立て板に水」のようなきれいな言葉でそつのない挨拶はしらせてしまう、型にはまりすぎた挨拶は時として嫌みになる、と厳しいことも書いています。沢村さんの自宅に毎日お手伝いに来てくれる娘さんとは、本校の挨拶のキャッチフレーズのように、「いつでも、どこでも、何をしていても」、声をかけ合うことにしているとのこと、「おはようございます」が「今日もこれからお互いに頑張りましょう。」の合図になるといいます。そしてもう一つ、沢村さんは、若い人たちに望む「昨日の挨拶」について書いています。若い人たちの相談に乗り、一緒に悩み、あれこれ助言をした後、次に会ったときの「先日は、ありがとうございました。」という挨拶です。たったそれだけの言葉でお互いの心がふれあい、親しさを増し、人間関係を深めることになる。夫婦、親子の間でも、こうした日常の挨拶は、暮らしの中のけじめとしてあったほうが良い、と締めくくっていました。

思えば私自身も、3年生と廊下ですれ違ったとき、「校長先生、面接練習、ありがとうございました。試験、結構うまくいきました。」と声をかけてもらって、気持ちが良かったことを思い出します。「気さくで人情あふれる暮らし」のある台東区で育った沢村さんの考えと通じるものが本校にもあります。3年生をはじめ先輩たちが大切にしてきたよき伝統を、在校生と、そして4月に迎える新入生とともに大切にしていきたいと思えます。

## 2学年校外学習

3月3日、2学年は給食後、学校を徒歩で出発し、浅草通りを經由して駒形橋より北上し、台東区の街並みを散策しながら地域の歴史を学びました。吾妻橋の水の上バス乗り場から水上バスを貸切り、隅田川を下りました。事前学習では、隅田川に架かる18の橋や歴史等を調べました。

## 2年1組

今回、浅草までみんなで歩いて行ったときに、車いすの人が来ているのに気付かない子に声をかけたり、人にぶつからないように気を付けて歩きました。船に乗るときは、船の人たちにあいさつをしたり、しっかり話を聞いたり、最後まで「ありがとうございました」と伝えることができました。船に乗っているときに、手を振ってくれた人たちに、しっかり返すこともできて、楽しかったです。帰るときも、広がらずにふざけないで帰れたと思います。修学旅行の時も同じようにできたら良いです。



## 2年2組

普段、自分たちが暮らしている地域でも見たことのない景色などを改めて見て知ることができて、良かったなと思いました。水上バスというものを知るのも今回が初めてで、乗るのも初めてでした。

とても涼しく新鮮な気持ちで乗ることができ、水上バスの関係者の人の心温まる対応に、気持ちがよく自分もそうしたいと思いました。水上バスに乗り、とても楽しかったが、水上バスから見る景色は、今までを変えるようなもので、映画の世界のようでワクワクしました。今後もこのような活動があったら、普段との違いを見て、楽しみ、学んでいきたいと思います。



## 2年3組

普段からよく見ている景色が多かったけれど、いつも見ているのとは違う目線で(下から)見ることで、同じ場所でも高さや角度が違うだけで全く違うように見えるのだなと思った。また、隅田川にかかっている橋はたくさんあることを知った。いつも通っているだけだとどれも同じように思っていたけれど、下から見てみると橋の色や形が全く違って一つ一つ特徴があるのが面白いと感じた。隅田川の近くはたまに行くから、今度は下から見たものを上から見てみようと思った。行きに通った道もほとんど通ったことがあったけれど、友達とその場所について話したりして新しく知れたこともあってよかった。

## 2年4組

周辺散策では御徒町台東中学校の周辺、特にかっぱ橋の近くには、お寺や神社、工芸品を売る店が多いという印象を受け、江戸時代ごろからどのような町であったのかを学ぶことができました。水上バスの乗車時には、様々な橋を通ることにより、様々な橋のつくりがあること、それぞれの町で発展ぐあいがあること、川沿いに工場が集まっていることに気付き、学ぶことができました。今回、事前学習で隅田川に架かる橋の一つ調べました。水上バスに乗っている時、自分が調べている橋を見つけ、その構造を詳しく学ぶことができました。このことから、事前学習の大切さを学び、これからも続けていきたいと思いました。

## 卒業式予行・卒業記念品授与

3月16日(水)の5校時に卒業式の予行が行われました。本番と同じに入場から退場までを通し練習を行いました。練習するたびに3年生も気持ちがだんだん入って来ました。立派な態度で予行練習が行えました。

予行の後、卒業対策委員の方々が来校し、生徒へと学校への記念品贈呈式がありました。学校へは運動会等で使う組み立て式簡易テント7張をいただきました。



## 体育優良生徒

3年3組 、 3年2組

## 産業教育振興会奨励賞

3年1組 、 3年3組

体育優良生徒は、学業及び人物ともに優秀で体育的行事や体育に関わる学習、特別活動に優れた成果を挙げた者に送られます。

産業教育振興会奨励賞は、学業及び人物ともに優秀で産業教育・情報教育に関わる学習、特別教育活動やボランティア活動に優れた成果を挙げた者に送られます。